

第3回総合計画審議会における指摘事項及び対応

令和6年4月19日 第4回朝霞市総合計画審議会 資料1

《資料全般》

※下記対応欄に記載されている資料番号は、今回お配りした資料の番号です。

連番	指摘箇所	指摘事項	対応
1	関連箇所全般	本市の合計特殊出生率は、県内でみれば高いが、人口置換水準である2.07には遠く及ばない。この状況をもって「高い」と表現すると、ミスリードにつながるのではないか。	文脈に応じ、「県内でみれば相対的に高い」「しかしながら、人口置換水準2.07とは乖離がある」等補足しました。（基礎調査P13コメント欄、資料4-1、4-2の合計特殊出生率に関する記述等）

《基礎調査報告（案）》

連番	指摘箇所	指摘事項	対応
1	全般	第5次総合計画後期基本計画の検討時には、道路整備状況や公共施設の位置図等、資料に図版が含まれていたが、今回はいかがか。	基本計画の検討時にお示ししたいと考えていましたが、出来次第、審議会にもお示しします。（今回は各課が作成している図表を参考に配布します。）
2	課題、P31等	市民目線から、①高齢になっても元気、社会貢献が大切、②高齢者が元気で、歩きたくなくなるようなまち、③特徴ある公園づくり、といった要素を明記してはどうか。	基礎調査のP34等に含まれているものと理解しています。
3	課題、P31等	本市の場合、人口増加が続いていることもあって、出生率の低下と人口減少への危機感が弱いのではないか。若者・女性のニーズをもっと踏まえていくことが大切ではないか。	子育て支援についてはP33に整理しているので、P33の文章を修正し、「若者や女性等のニーズを踏まえながら、」と追記しました。
4	課題、P33	妊娠期から、切れ目なく支えていくという内容が必要ではないか。	P33の文章を修正し、「切れ目のないきめ細かな出産・子育て等の支援に努める等、」と追記しました。
5	課題、P33	「ICTを最大限活用しながら」とあるが、DXは、教育分野に限った話ではないので、課題の見出し等において工夫すべきではないか。	DXについてはP35に整理しているので、P35の文章を修正し、「市民に対する各種サービスにおけるデジタル技術の有効活用に努め、」と追記しました。

《市民意識調査等》

連番	指摘箇所	指摘事項	対応
1	全般	地区別の集計・分析は、実施されているのか。	第4回審議会において、現状で必要と考えるクロス集計を反映した報告書をお示しします。
2	全般	分野別市民懇談会の結果概要について、今回報告に含まれないのか。	第4回審議会において、審議会資料としてお示しします。

《人口推計検討資料（案）》

連番	指摘箇所	指摘事項	対応
1	全般	朝霞市だけの視点から記述されている。埼玉県や東上線沿線自治体の将来人口の動向についても加えたらどうか。	埼玉県や東上線沿線自治体の将来人口の動向について、社人研推計によるものを調査し、P11に「（1）東京都、埼玉県、基礎調査における比較対象都市（10市）の将来人口」を加筆しました。
2	P4グラフ	軸の目盛は0から作成した方がよい。	ご指摘のとおり作成し、関連箇所（基礎資料のP15）も併せてグラフを差し替えました。

《朝霞市が目指すべき方向性》

連番	指摘箇所	指摘事項	対応
1	キーワード	「防災」という語が見当たらないので、加えたらどうか。	資料4-1を精査し、左上「基礎調査から」欄の課題（4）に「災害対策」を追記しました。また、資料4-1右側欄に「国内で自然災害が頻発しており、本市でも引き続き災害対策が重要でないか」と加えました。 なお、資料4-2では抽象度を高めた「キーワード」を記載しており、ここでは「安全・安心」に含まれるものとしています。

《審議会の進め方全般》

連番	指摘箇所	指摘事項	対応
1	全般	審議時間等に余裕を持たせた設定が必要。また、「朝霞市が目指すべき方向性」については、次回に時間をとって審議し、丁寧に議論していくべきではないか。	計画の内容が多岐にわたり、またボリュームもあることから、各委員へのフォローの必要性は認識しています。委員の声を聴きながら、必要に応じて対応を検討していきたいと考えています。